

【優秀賞】

「日本とロシアの友好を」

根室市立歯舞小中学校
3年 干場 せれさ

北方領土問題、私はロシアと日本の友好を目標とし、問題解決していければと思います。

私は夏休み中、北方少年少女交流事業に参加し、東京へ行ってきました。今回は、私をふくめ七人で行き、安倍総理、文部科学大臣、外務省欧州局長、内閣府特命担当大臣に会い、私達の思いを伝えることができました。

「島民四世として、すべての人に過去に起こった北方領土での出来事や元島民の思いを語り伝えていきます。そして、北方領土が日本とロシアの友好の架け橋になることを願います。」

私が伝えた言葉です。また北方領土の一日でも早い返還を願う人、両国の友好的関係、一人でも多くの方が北方領土問題の解決に向けて向き合ってほしいと願う人、色々な思いをもっている同世代がいて心強かったです。

このように、安倍総理などの大臣に直接伝えるという機会はなかなかありません。私は今回伝えることができ、少しでも解決の道につながればと思います。

私の曾祖母は、実際に北方領土に住んでいて追い出された、という実体験があります。そんな曾祖母に北方領土についておしえてもらった事があります。

「北方領土では、いろいろな物がとれたんだよ。魚も昆布も。でもね、急にロシア人が来て占領されて、私たちは逃げてきたんだよ。島から出たときは、何も見えないくらい暗かったな。」

もし返還されたとして、ロシア人に元島民と同じ体験をしてほしくはありません。私が大臣にも伝えたように「友好の架け橋」となるような、お互いが自由に行き来できるような、そんな島になってほしい。

いつか、ロシアと日本が自由に漁業を営み、お互いが協力しあい、いっしょに暮らす。そんな島になるように、これから頑張っていかなければいけないと思います。私は、少しでも北方領土問題を解決に近づけていきたい。

そのために私はこの思いを次の世代へと語り伝えていきます。そしていつか、ロシア人と日本人が仲良く暮らしている北方領土が見れますように。